

開学10年を経て、この春、新しい図書館が誕生します。大学図書館の機能とは、言うまでもなく、大学の教育研究に関わる学術情報をコレクションして教育研究を支援すること、学外の関連機関と連携することによって多様な学術情報へのアクセスを支援することにあります。近年、図書館を「学術情報センター」と呼称する大学も多いことからわかるように、大学図書館は、恒常的な『情報の交換』、『知識の移転』のセンターなのです。

旧図書館は狭隘化が深刻で、そのため、図書館資料の収集・蓄積・提供を行う環境としては多くの問題を抱えていました。新図書館の面積は旧図書館の約5倍に増え、「小さくてもきらりと光る」本学ならではのコレクション構築を目指します。そして、これを機に、学術情報サービスのさらなる充実をはかります。そうすれば、学術情報の流通拠点としての機能が向上し、本学の教育研究の質が一層高まることは確実といえるでしょう。

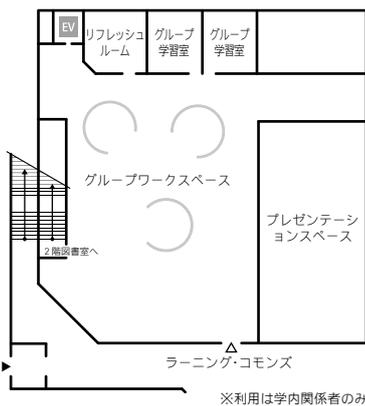
さらに、今、大学図書館の機能は拡大しつつあり、学生の主体的、協働的な学習の場としての機能が重視されるようになってきています。これまで、歴代館長や図書館関係者の努力の積み重ねによって、開館日の増加、開館時間の延長、電子ジャーナルの充実、コンピュータ端末の整備などが実現されました。

新図書館では、ここに、旧図書館にはなかったラーニング・コモンズ機能が加わります。「ラーニング・コモンズ」とは、複数の学生が集まって、印刷物や電子情報も含めたさまざまな情報資源を利用したり、議論したりしながら学ぶことを可能にする「場」をいいます。ラーニング・コモンズにはコンピュータ設備を用意するとともに、図書館資料の利用がしやすい環境が整備されています。ここでは、情報リテラシーを身に付ける一方、グループで学習することによって、広い視野、パランスのとれた思考を獲得することが期待されます。こうした知的な成長こそが、対人援助の専門職を目指す学生にとっていかに重要なものであるかは、あらためて言うまでもないでしょう。

本学は地域に根ざす大学です。学術情報の流通拠点としての教育研究支援、ならびに知を深める自由な学びの場の提供による学習支援に寄与することが、直接的・間接的な形で地域貢献につながっていくものと考えます。

市立大学新図書館を紹介します

1階(ラーニング・コモンズ)



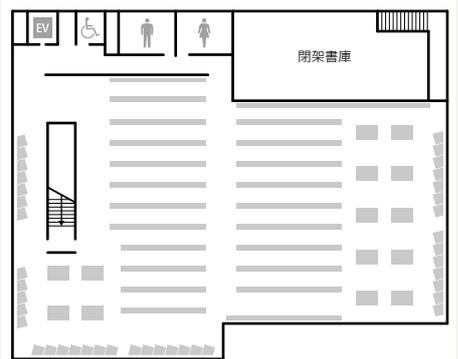
※利用は学内関係者のみ

2階(図書室)



※一般利用可能(入館は2階から)

3階(図書室)



※一般利用可能

◆利用時間

9:00~21:00
※長期休業期間中は9:00~17:00

◆休館日

日曜、祝日、年末年始(12月31日~翌年1月5日)
※このほか、臨時に休館する場合があります。

◆問い合わせ

名寄市立大学 ☎01654@4194

一般利用者の利用開始とガイダンス

一般利用者が入館できるのは、5月1日(月)からです。については、一般利用者を対象としたガイダンスを次の日程で行います。
※申し込み不要。参加を希望する方は直接本学にお越しください。

◆とき

第1回 5月1日(月) 14:00
第2回 5月13日(土) 14:00